

妊娠糖尿病患者の食習慣に関する検討

小松 信隆¹⁾, 中川 幸恵¹⁾, 菊地 智春²⁾, 渡辺 行朗²⁾
笠茂 光範²⁾, 中村 昭伸³⁾, 小野 百合³⁾, 関谷 千尋³⁾

札幌社会保険総合病院 1)栄養部
2)産婦人科
3)内科

妊娠糖尿病は分娩後に正常型でも、将来の糖尿病発症率が高率であると言われている。我々は妊娠糖尿病患者と糖尿病合併妊娠患者と正常妊娠の食生活の比較から、妊娠糖尿病患者の出産後のフォローについて検討した。その結果、妊娠糖尿病患者は食習慣においても糖尿病合併妊娠患者に近く、出産後の定期的なフォローの必要性が示唆された。

キーワード：妊娠糖尿病、食習慣、出産後

目的

妊娠糖尿病患者（以下GDM）は分娩後正常型のものでも、将来の糖尿病発症率が高率である^{1), 2)}と言われている。今回我々はGDMへの出産後のフォローの必要性についてGDMの食習慣から検討したので報告する。

方 法

平成14年度に当院を受診し、初回栄養指導前のアンケートに協力を得られたGDM11名（31.3±4.5歳）、糖尿病合併妊娠患者（以下DM）9名（28.0±4.7歳）、正常妊娠31名（29.3±3.4歳、母親学級参加者）を対象に（表1）、①妊娠前のBMI、②食事時間の規則性、③欠食の有無、④間食・夜食習慣の有無、を3群間で比較検討した。

表1. 対象者の背景

| | D M n=9 | GDM n=11 | non-DM n=31 | |
|--------|------------|-------------|----------------|-----------------------------------|
| 年齢(歳) | 28.0±4.7 | 31.3±4.5 | 29.3±3.4 | ns |
| 身長(cm) | 158.1±8.5 | 155.8±3.8 | 155.8±4.5 | ns |
| 体重(kg) | 72.2±11.4 | 65.2±21.4 | 50.2±7.4 | * ns ** p<0.01 *** p<0.0001 |

結 果

①妊娠前のBMIはDM群で $28.9 \pm 4.3 \text{kg/m}^2$ 、GDM群で $26.9 \pm 8.4 \text{kg/m}^2$ 、正常妊娠群で $20.0 \pm 3.2 \text{kg/m}^2$ であり、正常妊娠群に比べDMにおいては有意に高く（ $p < 0.00001$ ）、GDM群においても同様であった（ $p < 0.01$ ）（図1）、②食事時間が不規則な者はGDM群で63.6%、DM群で55.6%、正常妊娠群で48.4%であった（図2）。③欠食がある者はDM群で44.4%、GDM群で36.4%、正常妊娠群で16.1%であり、DM群は正常妊娠群に比べ欠食をする者が多い傾向を示した（ $p = 0.08$ ）（図3）。④間食・夜食習慣は3群間での差は認められなかった（図4）。

考 察

GDM患者の食習慣には、食事時間が不規則であることや欠食することが多く、糖尿病患者と同様の食習慣を有していることが確認された。その結果、妊娠前のBMIは正常妊娠に比してすでに高値であると考えられる。GMD患者の多くは、出産後の耐糖能では正常型を示すが、食習慣において糖尿病発症のリスクファクターを有していると思われる。妊娠中に出産へのモチベーションから改善された食習慣も出産後の子育てや正常化された耐糖能などにより、元の食習慣に戻る症例を数多く経験した。GDM

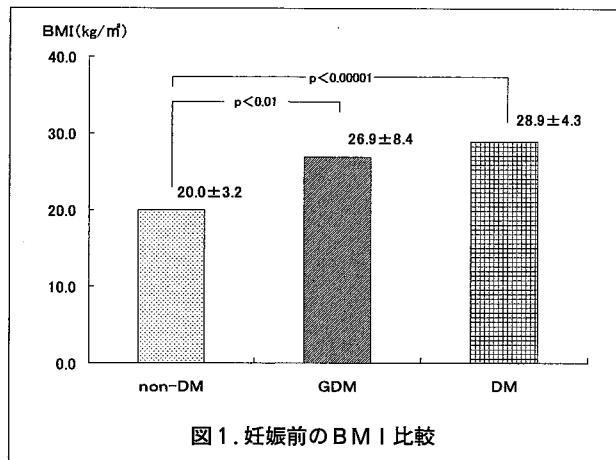


図1. 妊娠前のBMI比較

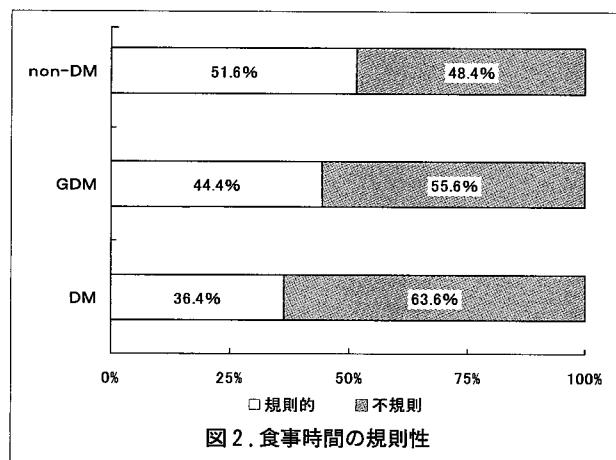


図2. 食事時間の規則性

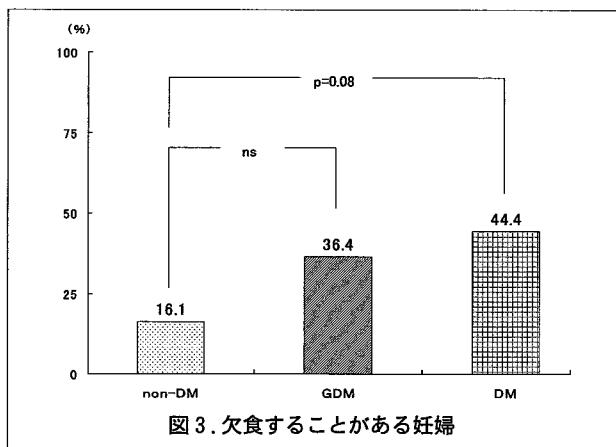


図3. 欠食することがある妊婦

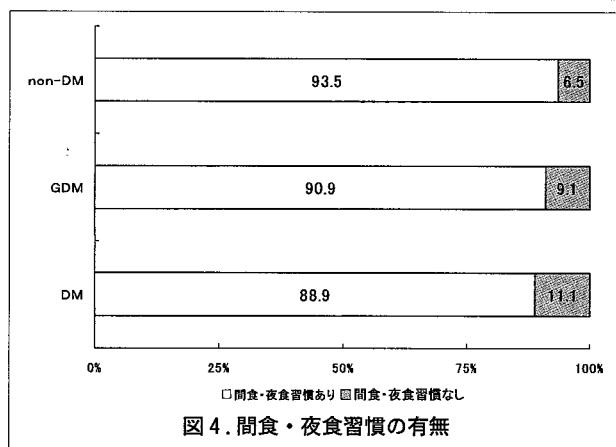


図4. 間食・夜食習慣の有無

Mには出産後の定期的な耐糖能検査¹⁾や栄養士による食習慣の追跡調査などの必要性が示唆された。

結語

GDMはDMと同様に妊娠前のBMIが高く、不規則な食習慣や欠食、間食・夜食習慣を有する者が多く、出産後は糖尿病の予備軍として、栄養士の介入を含めたフォローの継続が必要と思われた。

文 献

- 1) 豊田長康、前川有香：「妊娠と糖尿病」診療スタンダード、金芳堂、3-21、2002
- 2) 杉山隆、豊田長康：糖代謝異常妊娠の栄養管理と医学的管理、臨床栄養 Vol.102 No.4、医歯薬出版、414-420、2003

Examination about eating behavior of gestational diabetes

Nobutaka KOMATSU¹⁾, Yukie NAKAJIMA¹⁾, Chiharu KIKUCHI²⁾,
Ikuo WATANABE²⁾, Mitsunori KASAMO²⁾, Akinobu NAKAMURA³⁾,
Yuri ONO³⁾, Chihiro SEKIYA³⁾

1)Department of Nutrition, Sapporo Social Insurance General Hospital

2)Department of Gynecology, Sapporo Social Insurance General Hospital

3)Department of Internal Medicine, Sapporo Social Insurance General Hospital

Gestational diabetes change normal type after gestation, but it said that future diabetic crisis rate is high. We reviewed it by follow up study after birth of the gestational diabetes from comparison of eating behavior among the gestational diabetes, the diabetic pregnancy and normal gravid. As the result, the gestational diabetes was near to the diabetic pregnancy in eating behavior, and necessity of periodical follow after birth was suggested.
